

躍進

教育と文化、永遠の誓い



アルモニア教育文化協会 (Associação Harmonia de Educação e Cultura) (以下アルモニア) の歴史は、自分自身の仕事や私生活を犠牲にし、連帯精神に徹し、且つ近代社会人として将来の役割は如何なるものかを見通した偉大なる人達が築き上げたものである。

そして、1953年の創設以来今日までの事業の実績記録は確実な功績の積み重ねの歴史であり、ことにこの事実が日本移民が子弟の教育を如何に重要視したかという成果に他ならない。

アルモニアが学生寮として実現することに移民の人達が努力を惜しまなかったのは彼等

が、日本人が持っている貴重な文化使命の一つである子弟に然るべき教育を施す義務の自覚をブラジルに持ち込んだ結果であろう。アルモニア — 周知の通り — は、ブラジル日本移民史の中での重要な一章である。

アルモニア学園は現在、幼稚園から高校まで370人の生徒が全日制で勉学に励んでおり、それは今尚残る移民達の努力の成果とも言えよう。

アルモニア学生寮の元寮生たちが、ブラジル社会の幅広い分野に於いて目覚ましい活躍を見せている事実は、ブラジル日系社会にとって、またブラジル国家にとっても移民の人達

未来のリーダー育成のための教育、文化及び 道徳観念



の努力の貴重な遺産である。

アルモニアのプロジェクトが次々に実現してきたことは、過去の豊富な実績と確固たる地盤に基づいて、創立当時から営々と築き上げられて来た現実と未来であり、将来に続ける着想と励ましになっている。

アルモニア学生寮は創立60周年記念を迎え、現在は教育機関として機能しているが、創立者達の革新的な趣旨はそのまま受け継がれている。

その創立の趣旨とは、日本人移民が持ち込んだ文化及び道德観念をブラジル社会に伝承し、人間関係の調和 — アルモニア名称の起

源 — を確立し強固なものにすることで、国家発展に有為な人材を育成し、社会に貢献することであった。

教育分野に於いてアルモニアは、運営者も認める通り生徒数を限定し、質の高い教育 — 他校と違った正規の学校教育以外に日本人の道德観念を伝承することによる学生の人格形成 — を心がけている。

アルモニアは、地域はもとより地域外に於いても参考、または手本になれるように最善の努力をはらっている。

別冊の全文を参照されたい。



1949年3月 — サンベルナルド・ド・カンボ市、メニーノス区(現在のルージ・ラーモス区)に一万二千平米の土地を購入する。

1953年9月20日 — 2階建て、22部屋、44人の学生を収容でき、図書室、調理場及び食堂を完備したアルモニア学生寮が竣工した。その後間もなく、寮生の文化、社会的知識の向上に欠かすことの出来ない博愛精神涵養のため、アルモニア学生クラブが設立され和田忠義が会長に就任した。

1963年9月22日 — 医療室、学生110人を収容出来る第2棟の建設計画が発表された。

1966年10月1日 — 椎名悦三郎日本国外務大臣がアルモニア学生寮訪問。

1967年5月 — 講堂、ホール、貴賓室、教室、医療室を備えた1,600平米のアルモニア学生寮の第2棟が竣工した。

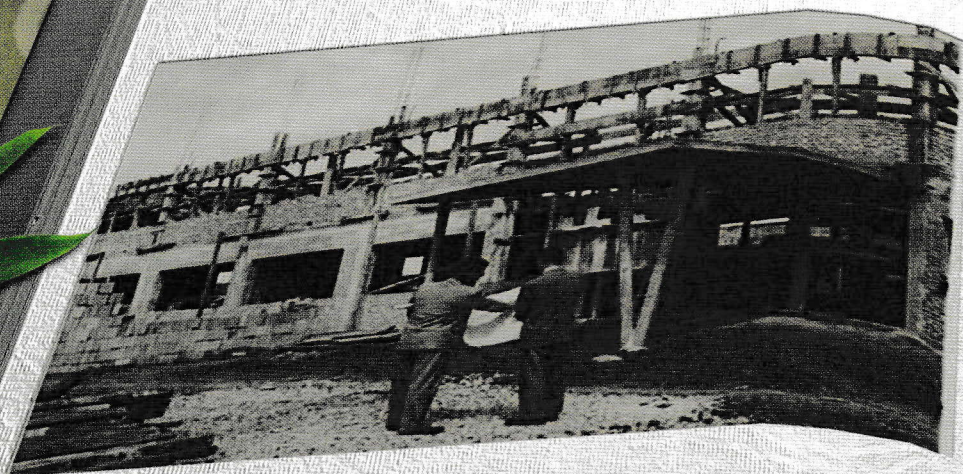
1973年9月22日 — 第3棟の建築計画が発表された。

アルモニア学生寮は、125人の学生を収容するに至った。

1976年 — 日本政府の補助金及び民間企業の寄付を仰いで、アルモニア学生寮第3棟が建設され、収容能力は約200人となった。

1978年9月22日 — アルモニア学生寮創立25周年記念式典が挙行され、正面の庭に ”アルモニア、我らここより出で立ちぬ” と書かれた記念碑が建てられた。

アルモニア、温故知新を以て将来を築く



1988年 — アルモニア学生寮から5人の学生が、交流のため、初めて日本を訪問した。

1992年11月8日 — 一州教育局から開校の許可が出る。

1993年2月8日 — アルモニア教育文化協会が経営する学校の開校式。当初から全日制の幼稚園、初等科1, 2学年から始め、順次学年を増やし、高校課程まで達する計画であった。

1995年 — アルモニアは、毎年行われる日本の幾つかの県の学生と、ブラジルの名門サッカー・クラブからチームが参加する日伯幼年サッカートーナメントを開催する。2013年

には第18回大会が開催された。以前の大会には後に世界に名を馳せたカカ、ロビンニョ、ジエゴ及びマグロン達も参加した。

1988年10月 — 2,883平米の体育施設を竣工した。

2003年2月2日 — アルモニアは高校課程の授業を開始した。

2006年4月22日 — がサンパウロ学生会がアルモニア教育文化協会と改名される。

2008年3月8日 — 日本移民百周年記念の一環として、アルモニア学園は幼児用校舎を竣工した。



「道」とは、日本文化の中核をなすもので、継続的に修練を重ね人格を形成する道程を意味する。日本人は、道のコンセプトを美学的に表現する：茶道、華道、香道、書道、歌の道（詩）、武道（柔道、剣道、合気道、空手道）。

これらの芸術を修める事は品格の価値、即ち、集团的合意の体得、計画性と組織能力、

合理的な判断力、知識の探求、自然を尊重、芸術及び文化の向上、科学的原理に基づく実用主義、協調精神、先天的な誠実性の涵養である。

日本文化に於いて、技術及び人格の完成は重要な意味を持つ。そのため、家庭に於ける子弟の教育が最優先的に扱われる。アルモニア学園は創立当時からこれらの価値観を伝承することによって、将来のリーダーを育成し、



写真：

舞台衣装を纏った生徒達の太鼓の演奏。

解説：日本では戦国時代に軍隊を活気付けるため、又、は進軍の合図に使われていた。初等科及び中学で教えられている。

ブラジルの文化形成に寄与する役割を担っている。

現在、基本的な価値観を学生及び教師団に伝承すべく教育企画に編入しているのは倫理、知識の安定性、批判感覚及び進取の気性の涵養である。そのため、「H+ 20」というプログラムを組み、授業実施の中にこれらの要因を取り入れている。

その目的とするところは、単なる学課教育に留まらず、文化及び若い学生の人格形成に留意し、健康と明るさを以て各自の潜在能力の範囲内で、発展する世界の一員となるべく養育する事である。すなわち、この国の将来を担う世代を養成する事である。

子弟教育は輝かしい将来への最善の道

道



アルモニアはこの20年間サンパウロ郊外工場地域（ABC地区）に於いて広く知られ、絶賛の的となっている。国内の主な教育機関の指標、ブラジルに於ける日系の学校のモデルとなる事を目標としているが、学園の生徒の70%は非日系である。

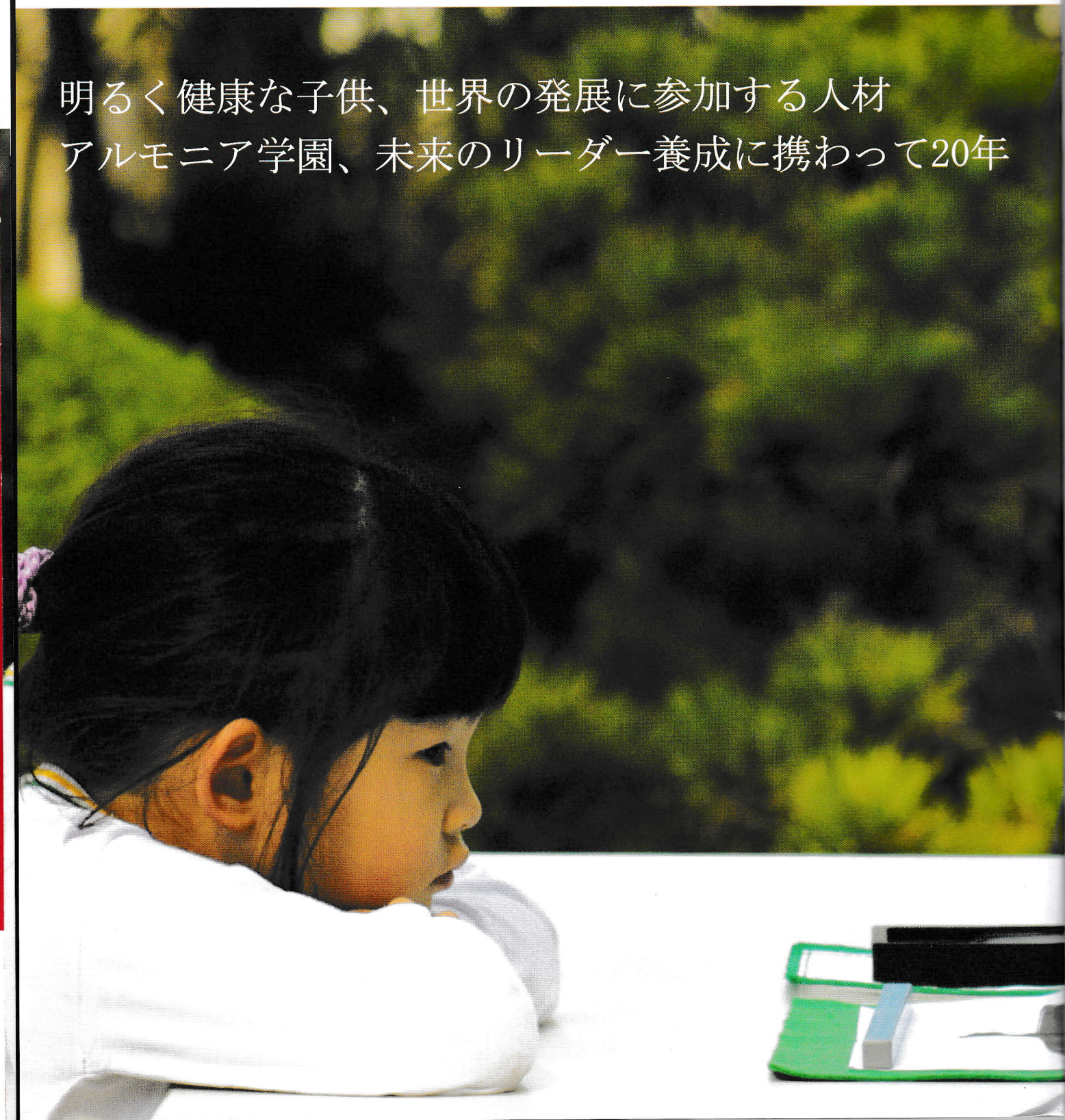
幼稚園から始まり初等科レベルI及びII、高校の課程があり、近年は大学入試の高い合格

率を誇り、サンパウロ市郊外で高い評価を受けている。その他文化コンクール、サンパウロ株式市場が開催する株式投機挑戦ゲーム等でも良好な成績を残している。

教育機関の格付けをする中等教育公定試験の評価も充分満足できるものである。

最高の立地条件に恵まれた一万二千平米の土地に、運動場を兼ね備えた十分な施設、広

明るく健康な子供、世界の発展に参加する人材
アルモニア学園、未来のリーダー養成に携わって20年



い庭園、体育館、図書室、食堂、実験室その他付属施設が備わっている。

大事な特徴は全日制であり、基本カリキュラムの延べ授業時間が長く、復習、その他部活動に充てられる。

特徴ある一般の学校と違った教育は種々の活動を通じ、日本文化の価値観を日々の生活の中に浸透させる事である。学生たちは有能な

教師から勉学の興味や楽しみ、組織、時間厳守、衛生、食事、そして年長者への尊敬など秩序正しい訓育を受ける。

日本の学校との協定によって文化交流を行っている事、日本語、英語、スペイン語の3ヶ国語の習得がカリキュラムに含まれている事も強調したい。



日本語教育
アルモニアは、三カ国語を初等教育1年生より必修としている。

日本との交流活動は、日本移民がそのルーツを見失わないと同時に、受け入れ国ブラジルに謝意を表明するために、日本の学生を対象にブラジルを紹介してきた。

1980年以来アルモニアは、両国の学生の文化及びスポーツ交流を実施し、ブラジル人と日本人の親善、価値観と習慣の相互理解、知識と体験の蓄積を奨励してきた。

この事業は、国際交流基金の援助、千葉、奈良、滋賀、及び札幌各市の高校と共同で推進され、既に2000人以上の学生が参加した。

アルモニアの学生が後日、日本へ渡り、或いは逆に日本人がブラジルで就職したケース

で、この交流の経験を活かして職業的に有効な成果を挙げた例がある。アルモニアには、日本からブラジルの事情及び習慣などの情報を求めて訪れる人達が多々ある。

スポーツ分野においては、長年日伯幼年サッカー大会を開催しており、日本の学生以外にもコリンチアンス、サンパウロ、パルメイラス及びサントスの様な名門サッカー・クラブも参加している。

この大会はカカ、ロビンニョ、ジエゴなどと言った国際的な人気選手も輩出した。

ブラジル/日本の文化及びスポーツ交流、累計
2,000人以上の学生が参加

交流

写真：
ブラジル/日本幼年サッカー大会、アルモニアの学生が
日本で文化交流。





松は長寿を象徴し。常緑で永年樹である事から日本では幸福と富のシンボルとなっている。

Associação Harmonia de Educação e Cultura
Av. Caminho do Mar, 2709 - Rudge Ramos
CEP: 09611-000 - São Bernardo do Campo - SP
Tel: 11 4368 9560 - fax: 11 4368 2718
ceharmonia@ceharmonia.com.br
www.ceharmonia.com.br



Harmonia
Educação e Cultura

